



## 徳島県 医療ソーシャルワーカー 協会ニュース

### 挨拶

徳島県医療ソーシャルワーカー協会

副会長 有馬 信夫

手紙～未来～

5年ぶりに理事をさせていただくこととなりました。気の利いた挨拶文は苦手なので、誠に勝手ではありますが、この場をお借りして、これまでの反省と戒めを込めて、未来の自分に対してメッセージを書きました。以下のとおり。

#### 【職場から給料をもらって仕事をしている組織人である】

あなたはソーシャルワーカーである。故に倫理綱領・業務指針に従いクライアントのために仕事をしているだろう。しかし、クライアントのため「だけ」ではいけない。

まず、あなたは職場からお金（サラリー）をもらって仕事をしている。実はそれだけではない。周りを見渡してほしい。病院の一区画に自分用のデスクを与えてもらい、パソコンもある。複数の相談室、カンファレンス室も使える。快適に仕事ができるようにエアコンが備え付けられ、コピー機もある。どこにいても連絡がとれるよう PHS が渡され（これは時に困る）、制服も貸与されているだろう。ペンなどの文房具、業務に関連する書籍など業務上必要なものが与えられる。社会保険の半分は職場持ちだ（それでも保険料高いなあ）。職場はあなたにサラリーとプラスαのものを投資してくれている。そうである以上、職場が地域社会に求められているミッションを達成するために、あなたは対価以上の職場の利益（収益のことだけではない）をだすことが同時に求められる。時に、クライアントと組織、両者が求める利益の狭間でジレンマが生じる。苦しく感じると思うが、その時こそソーシャルワーカーの力の見せ所だ。医療情勢も変化して資源（人、物、時間）も限れている。その中でどれだけのことができるか、どれだけのことをしたか、クライアントだけでなく組織に対するアカウンタビリティがあなたには求められている。

#### 【一人では、なにもできないソーシャルワーカー】

ソーシャルワーカーとは総じて感謝される事の多い職種と思う。上述のように人と組織の間に立って仕事をしている以上、悪気はなくても嫌事を言われたり、心ない声を浴びせられることもあるだろう。でも、なにかしらの支援をさせてもらいクライアントから感謝の言葉（通称：仙豆→わからない人はドラゴンボールを読んで下さい。）がいただけると、元気がでて、さらにパワーアップする職種だと私は思う。だが時に、「自分が関わって凄い問題を解決した」、どや顔で「俺がやったった」、と医療制度・社会保障制度を熟知するあまり、あたかも問題解決の中心にソーシャルワーカーがいるという錯覚に陥り、いき過ぎると不要なパターンリズムが生じてしまうことがある。今のあなたはどうですか。

（挨拶文 続き）

さあ、基本に立ち返り自分なりのあるべきソーシャルワーカー像を確認してほしい。傷病によってでてくる諸問題に対峙し解決をするのはあくまでクライアント。あなたはクライアントを支えるチームの一員にすぎない。パワーレスな時には最低限のサポートが求められることもある。だが、基本的姿勢としてはクライアントより前にではいけない。そして、常日頃から信頼関係や環境作りのため裏側でゴソゴソ働いて、多くの資源を巻き込むことだ。だって一人ではなにもできないのだから…、といっても決して無力であるということではない。表には見えないかもしれないが、あなたがそこにいるだけで十分にクライアントのためになっている。

以上

未来の自分が組織人・ソーシャルワーカーとしての道を外していないことを願うばかりです。駄文で失礼しました。  
微力ながら協会の発展に貢献してきたいと思えます。ご指導よろしくお願ひいたします。

## 研修報告

フレッシュ医療ソーシャルワーカー研修  
（H29.6.11） <徳島県総合福祉センター にて>

「フレッシュ医療ソーシャルワーカー研修に参加して」

兼松病院 三木理恵子

今年度より医療ソーシャルワーカーとして働くことになりました。先輩方からソーシャルワーカーとして働く姿勢や心がけなどを学びたいと思い、参加させて頂きました。

今回の研修会では、講義形式でMSWに必要な知識・価値・倫理・技術・姿勢など様々なことを学ばせて頂きました。

「MSWの基本姿勢及び基礎知識」では改めてソーシャルワーカーが関わるクライアントはどのような状態にあるのかについて考えることができました。ディスエンパワメントな状態のクライアントに安心と自信、自由を取り戻す為にソーシャルワーカーの知識、技術はあるのだということを再確認する事が出来ました。また、実際に活用されている技術を紹介していただき、自分の支援にも活かしたいと思えます。

「MSWのアセスメント」では支援の初期にクライアントへの理解を深め、支援の見通しを立てるために、ただ聴き取るだけでなく、多角的な視点でとらえ、クライアントの持っているストレングスに気づけるように観察する視点を持つことがソーシャルワーカーのアセスメントなのだ学びました。また、新人という立場に甘えず、責任感を持ってクライアントに接することなど仕事に対する姿勢も学ぶことができました。

「MSWの記録」ではロールプレイを拝見し、実際にSOAP記録の形式で記録を取ることのできる対話の中にどのような情報があるのか、何を残しておく必要があるのか気づきを得ることが出来ました。日々の記録の目的は自分の防備録ではなく、多職種や他機関、時にはクライアント自身やその関係者に開示することも想定して記録を残すことで支援の助けとなるだけでなく、支援の目的や効果を示すことに繋がるのだと学びました。

新人ソーシャルワーカーとしてたくさんの学びと刺激を受け、また会員の皆様の温かい心遣いに、これからの業務や勉強の励みとなりました。今後も研修会などに参加し、一層の精進に努めたいと考えています。

ソーシャルワーカーデー（H29.7.22）＜徳島県立総合福祉センターにて＞

「ソーシャルワーカーデーに参加しての感想」 きたじま田岡病院 高橋 里沙

7月22日、徳島県立総合福祉センターにてソーシャルワーカーデーを開催致しました。ソーシャルワーカーデーは、徳島県精神保健福祉士協会、徳島県社会福祉士会、徳島県医療ソーシャルワーカー協会の三団体合同にて、ソーシャルワーカーの役割や取り組みを沢山の方々に知って頂くことを目的として開催しています。今年度行われたソーシャルワーカーデーは、養成校の学生に対して若手ソーシャルワーカーが職場や仕事内容の説明をシンポジウム形式にてトークセッションを行うというものでした。各団体から2名ずつシンポジストとして参加し、また沢山の学生が参加して下さいました。私は、徳島県医療ソーシャルワーカー協会からシンポジストとして参加させて頂きました。それぞれのシンポジストから普段の業務内容などを学生に対し説明し、その後、学生の皆さんとトークセッションを行いました。仕事のやりがいや、ソーシャルワーカーを目指したきっかけなど、学生の皆さんからいくつか質問を頂き、私自身改めて自分自身を振り返る良いきっかけとなりました。

私も一昨年まで学生だったこともあり、就職に悩む学生の思いに親近感が湧き、懐かしい思いがしました。ソーシャルワーカーを志した学生達とこうして触れ合う機会は、学生にとっても進路を選ぶ良い機会になったでしょうし、私たち現場で働く人間にとっても自分自身を見つめなおす機会、また、他の職場・職種のことを知る良い機会になりました。

少しでも多くの学生がソーシャルワーカーの仕事を理解してくれ、ソーシャルワーカーの道を目指してくれると嬉しいです。来年のソーシャルワーカーデーも楽しみです。

徳島県MSW協会～スキルアップ研修会～（H29.9.3）＜徳島県鳴門病院にて＞

「研修に参加して」 伊月病院 井開 愛

今回の研修内容は『臨床推論をソーシャルワークに活用しよう』というテーマで、徳島県鳴門病院 郡様が講師となり研修会を進めて下さいました。県外のMSWや現役大学生さんも参加され、新たな交流ができる機会でした。

タイトルにある臨床推論とは、「クライアントに接しながら、推理によってクライアントが直面している問題や課題を明らかにし、解決しようとする際の思考過程やその内容」のことです。最初はイメージがつかなかったのですが、〔買い物に困っているおばあさん〕に対し〔ヘルパーの家事援助を利用〕すれば問題解決できると仮定し、そのためには〔介護保険申請〕し、〔ケアマネージャーをつける〕ことが必要と介入計画をつくる、といった一連の内容が「臨床推論（仮説演繹法）」のプロセスをたどり日常のMSWの仕事内容の説明ができると講義を受けました。

その後、救急室医師より名前不明で半身麻痺と言語障害がある男性患者の介入依頼があったとして事例検討を行いました。医師より連絡があったとき、保険証がないと看護師から連絡があった時など、その各場面でSWの思考をグループで話し合うという形で進みました。救急隊へ出動までの経緯を聞く、持ち物を確認してかかりつけ医から情報収集するなどSWがどう行動するかを具体的に話し合うことで、今後の業務の参考にさせていただける良い機会となりました。仮説を立て、検証し、判断することを意識して日頃の業務に取り組みたいと思います。また情報収集した内容を医療スタッフに完結にプレゼンテーションすることが自分自身未熟であるため、今後の課題として見いだせた研修となりました。ありがとうございました。

## 協会のWA

『携帯電話に入れると便利なアプリ』

老人保健施設 昂 久米 崇史

僕が携帯電話に入れておくと便利だと思うアプリは「LINE」です。

理由は簡単！たくさんの方がダウンロードされているため、連絡のやり取りが簡単にできるからです。一度にたくさんの方とのやり取りも可能ですし、内容の共有も出来るので文句なしです。写真や動画も簡単に添付できます。また、自分の居場所を送れる事ができるので、待ち合わせのときなど非常に便利です。

この居場所を知らせる機能は通常時だけでなく、災害時にも役に立ちます。地震による災害で、通話はできないがLINEは繋がったという話も聞いたことがあります。いつ起こるか分からない自然災害に備え、LINEを入れていない方は、この機会にぜひ入れてみてはいかがでしょうか。

次回のテーマは

『もしもタイムマシンが使えるなら』  
です。宜しくお願いします。

あなたの

” もしもタイムマシンが使えるなら ”  
は？

## 会費納入のお願い

**会費の納入方法が変更となりました**

新たに『郵便振替口座』を開設しました。

～振込先(郵便振替口座)～

記号番号：01660-8-43058

口座名称：徳島県医療ソーシャルワーカー  
協会

会費未納者の方には、「振込取扱票」を  
郵送しますので、郵便局よりお振込み  
くださるようお願いいたします。

## インフォメーション

＜ 徳島県医療ソーシャルワーク学会 ＞

開催日：平成29年11月18日(土)

13:30～17:00

11月19日(日)

9:30～12:00

テーマ「認知症から見る権利擁護  
～ソーシャルワーカーにできること～」

開催場所：徳島市立青少年交流プラザ

＜協会事務局＞

東徳島医療センター 地域連携室内

〒779-0193

徳島県板野郡板野町大寺字大向1-1

TEL:088-672-6306 FAX:088-672-4266

e-mail:

renkei@higashitokushima.hosp.co.jp